

# 畜産物の生産コスト上昇に ご理解を！

おいしくて安全・安心な国産畜産物を  
これからも生産者は提供していきます。  
しかし、今、家畜たちのエサが値上りし、  
生産コストが増加しています。



写真：(社)中央畜産会提供

# 家畜はとうもろこしが主食です。

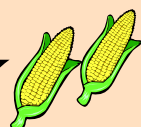
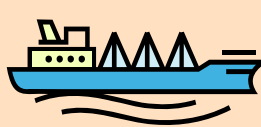
家畜のエサには大きく分けて、「植物の葉や茎(粗飼料)」と「穀物(配合飼料)」の2種類があり、効率の良い畜産物生産を行うためには、両方をバランス良く給与することが、必要です。

このうち、配合飼料の原料の半分はとうもろこしです。

とうもろこしの97%はアメリカから輸入されています。

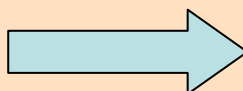


【とうもろこしから畜産物に】



【値上り】

海外から  
とうもろこしを輸入

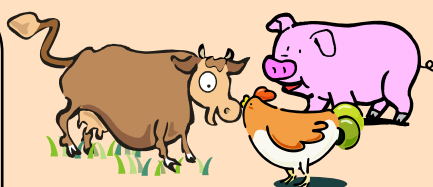


飼料工場  
(飼料用に加工)



生産者

生産コスト  
の上昇



牛肉10%  
豚肉・鶏肉15%



生乳5%



卵15%



加工工場

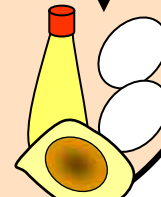
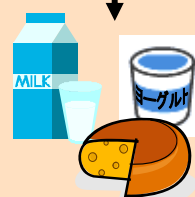
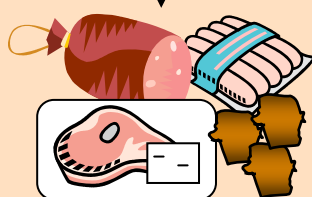
(処理・加工)

(処理・加工)

(処理・加工)



小売店

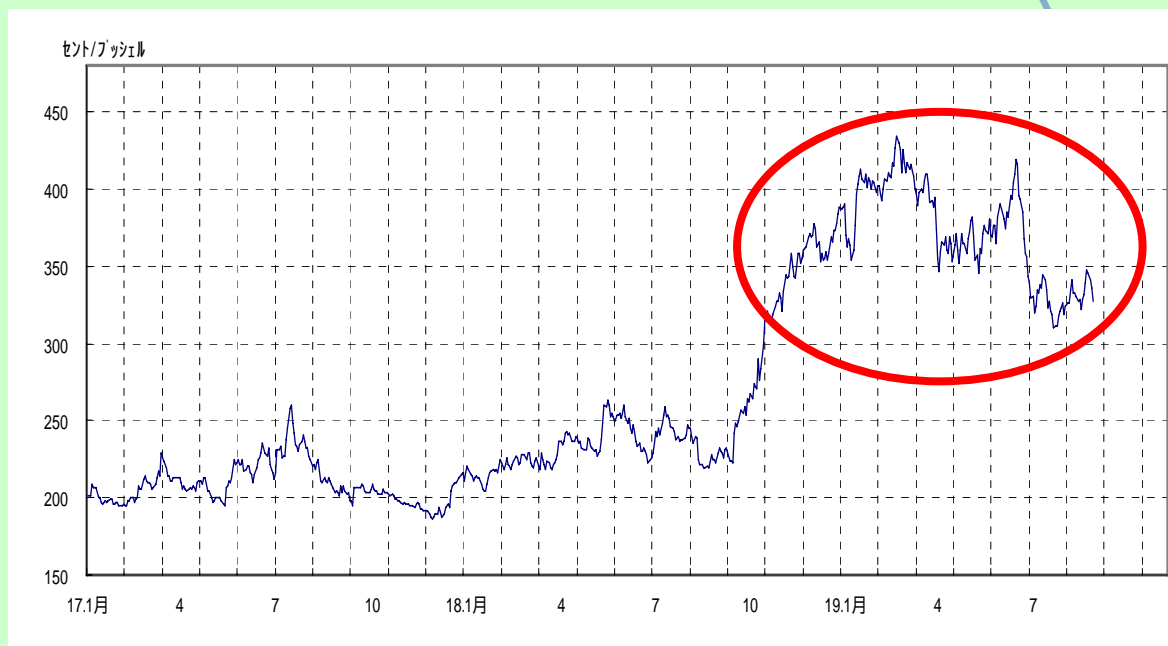


## とうもろこし価格は上昇しています。

とうもろこしの価格は、主産地である米国でのバイオエタノール生産向けの需要増加の影響を受けて、平成18年秋以降、急激に上昇しています。



<とうもろこしのシカゴ相場の日々の推移>



注:シカゴ相場の日々の終値。(1ブッシェル=25.4Kg)

## とうもろこし価格が上昇し、畜産物の生産コストも上昇しています。

とうもろこし価格の上昇の影響で、生産者が負担する飼料代も上昇しています。また、輸送費(海上運賃)の値上がりや円安の影響も受けています。

現在、1年前と比較し、飼料価格が約2割上昇し、生産コスト全体で、5~15%上昇しています。

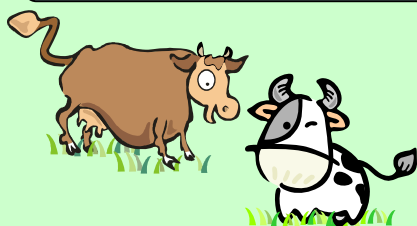
飼料代の割合も、1年前は生産コストの40~60%でしたが、現在は5%程度上昇しています。(農林水産省試算)

# 生産者は、これまでも絶え間ない コスト削減努力をしてきています。 今回も更なるコスト削減に向け、がんばっています。

例えば・・・

飼料の原料をできるだけ輸入に頼らないようにするため、  
国産の飼料を作り、利用する取組(飼料自給率の向上)を  
進めています。

## 草(粗飼料)の生産・利用を進めています



- ・ 稲わらや栄養価の高い飼料(稲発酵粗飼料、青刈りとうもろこしなど)の利用
- ・ 耕作放棄地などを活用した放牧

### 水田の利用

稲発酵粗飼料

稲わらの利用



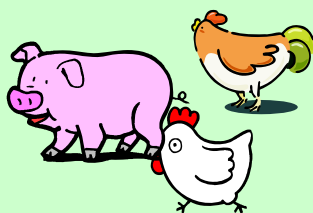
### 放牧の実施

水田放牧

耕作放棄地放牧



## 未利用資源の飼料化に取り組んでいます



- ・ 食品残さなどの未利用資源を安全性にも配慮して、飼料として加工し、利用しています。

### エコフィード(食品残さの飼料化)の利用



しかし、最近のコストの上昇は、  
生産者の努力だけでは、吸収できません。  
皆様のご理解をお願いいたします。

コスト上昇分は、生産者の努力だけで吸収できる範囲を超えています。このままだと生産者は国産畜産物の安定的な供給が、できなくなってしまう。

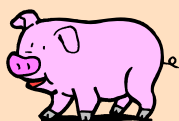
しかし、皆様に少しの負担をしていただければ、これからも安全・安心な国産畜産物の生産を続けていくことが可能です。

生産者は皆様に安心・安全な国産畜産物を供給するために、今後も精一杯努力していきます。このような生産者の現状をご理解いただき、ぜひとも応援団になってください！

1年前からの飼料価格の上昇分を  
小売価格に反映させた場合の上昇額



牛肉  
肩肉100g  
あたり 15円



豚肉  
ロース肉100g  
あたり 9円



鶏肉  
もも肉100g  
あたり 6円



卵  
10個あたり  
17円

注：農林水産省試算値(平成19年9月時点)

## 飼料価格高騰等の畜産をめぐる状況変化への 理解醸成のための中央推進協議会について

農家の状況を皆様に理解して頂くため、生産者、加工・流通業者、消費者の情報共有が重要と考え、理解を醸成する場として、協議会を設置しています。



### 消費者団体

生産者や加工・流通業者の取組について、消費者へ情報を発信



### 加工・流通業者

加工・流通コスト縮減に取り組む小売店、量販店等へ理解を要請

情報共有  
を推進



### 生産者

生産コスト縮減に取り組む加工・流通業者、消費者へ情報を発信

もっと知りたい方は…

<http://www.maff.go.jp/lin/06-siryou.html>

お問い合わせはこちらまで！

農林水産省生産局畜産部畜産企画課企画班

03-3502-8111(代表)